



ほけんだより

令和1年12月1日発行
社会福祉法人悠晴
大島なかよし保育園

早いもので、今年もあと1ヶ月になりました。寒さも厳しくなり、感染症も流行する時期です。こまめに手洗い・うがいをを行い体調管理には十分気を配りましょう。

12月の保健行事

12月下旬 身体測定

11月の感染症

溶連菌感染症 1名

寒い時期のけがや病気に注意しましょう



ポケットに手を入れたまま歩かないようにしましょう



1時間に1度、換気をしましょう



咳エチケットを守りましょう



乾燥しないよう加湿器をつけましょう



手洗い・うがいをこまめにしましょう



感染症にならないよう、人の多い場所は避けましょう

インフルエンザ

インフルエンザは咳やくしゃみなどによって感染し広がる病気で、毎年多くの感染者が出ます。悪寒・急な発熱・関節痛に続き、下痢、嘔吐、咳、くしゃみ、喉の痛みなどの症状がみられます。周囲への感染の拡大だけでなく、合併症の危険も伴うので、インフルエンザの症状を疑う場合は病院を受診し診断をしてもらいましょう。予防接種は感染力の強いインフルエンザにかかりにくくなり、発病しても重症化を防ぐことができます。



体調不良時の登園について

感染症などは、症状が治まった後もウイルスの排出が数日～数週間続きます。保育園は子どもたちが長時間にわたり集団で生活する環境のため、集団生活に適応できる状態まで回復していること、感染症の集団感染や流行につながらないことを確認することが必要です。発熱・咳・鼻水などの症状がある場合は医師の診断を受け、許可をもらってから登園していただきますようお願い致します。入園のしおりに登園を控えることが望ましい症状を記載しておりますのでご確認ください。



